



アドベンチャーワールド 鳥インフルエンザ発生状況について

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）にて、死亡したアヒル6羽から、11月11日（金）に和歌山県のPCR検査により、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。同日より臨時休園とし、和歌山県の指導に基づいて、防疫措置を実施しております。

この度、11月11日（金）よりモモイロペリカン数羽に食欲不振、動作緩慢などの症状が見られ、5羽の鳥インフルエンザのPCR検査を行った結果、1羽がH5亜型の陽性判定となりましたのでお知らせいたします。これを受けて環境省が定める「動物園等における飼養鳥に関する高病原性鳥インフルエンザへの対応指針」に基づき、関係行政機関、専門家と協議の上、新たに感染拡大防止対策を行っております。

パークは引き続き、当面のあいだ臨時休園とし、経過観察および安全確認のためにパークの全エリアを対象とした防疫対策を継続いたします。営業再開については関係行政機関と協議の上、決定次第、改めてお知らせいたします。

ご来園を楽しみにされていたゲストの皆様、関係者、地域の皆様には、今しばらく多大なるご迷惑をおかけいたしますが、何卒、ご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

- 発生経緯
 - 11月12日（土） 11日に症状があったモモイロペリカン1羽が起立不能 簡易検査陰性
 - 13日（日） モモイロペリカン4羽に起立不能、食欲不振などの症状あり
内1羽簡易検査 陰性
13日に発症の4羽及び、同居1羽（計5羽）を対象にPCR検査のため
検体採取
 - 15日（火） PCR検査結果、1羽 H5亜型の陽性判定
※他4羽につきましては、環境省（国立環境研究所）による検査継続中です

- 防疫措置 強い衰弱症状があり、感染の疑いの高い5羽を感染拡大防止措置として安楽殺を実施。
症状のないモモイロペリカンについては、隔離し、経過観察を行っております。
引き続き、他鳥類の飼育舎の消毒洗浄、経過観察を継続いたします。